

テーマ：第14回日本在宅薬学会学術大会

申請者：一般社団法人日本在宅薬学会

理事長 狭間 研至

助成対象年月：2020年度後期

提出年月日：2021年10月1日

1. 大会名称：第14回日本在宅薬学会学術大会
2. 大会テーマ：患者に寄り添う『在宅薬学』  
～デジタル時代だからこそ生きる薬剤師の力～
3. 大会会長：崔 吉道（金沢大学附属病院 教授・薬剤部長・病院長補佐）
4. 開催日時：2021年7月17日（土）～2022年7月21日（土）
5. 開催会場：石川県立音楽堂（7月17日、18日）/WEB開催（7月17日～7月24日）
6. 主催：一般社団法人日本在宅薬学会
7. 共催：公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

8. 後援：

厚生労働省 / 石川県 / 金沢市 / 公益社団法人石川県医師会 / 一般社団法人石川県歯科医師会 / 公益社団法人日本薬剤師会 / 一般社団法人北海道薬剤師会 / 一般社団法人愛知県薬剤師会 / 公益社団法人新潟県薬剤師会 / 公益社団法人富山県薬剤師会 / 一般社団法人福井県薬剤師会 / 一般社団法人滋賀県薬剤師会 / 一般社団法人京都府薬剤師会 / 一般社団法人奈良県薬剤師会 / 一般社団法人和歌山県薬剤師会 / 一般社団法人大阪府薬剤師会 / 一般社団法人長崎県薬剤師会 / 一般社団法人札幌薬剤師会 / 一般社団法人金沢市薬剤師会 / 一般社団法人日本病院薬剤師会 / 石川県病院薬剤師会 / 富山県病院薬剤師会 / 福井県病院薬剤師会 / 一般社団法人滋賀県病院薬剤師会 / 一般社団法人奈良県病院薬剤師会 / 一般社団法人和歌山県病院薬剤師会 / 一般社団法人大阪府病院薬剤師会 / 一般社団法人兵庫県病院薬剤師会 / 公益社団法人石川県看護協会 / 一般社団法人日本介護支援専門員協会 / 公益社団法人大阪介護支援専門員協会 / 石川県介護支援専門員協会 / 一般社団法人日本保険薬局協会 / 一般社団法人石川県介護福祉士会 / 公益社団法人石川県栄養士会 / 公益社団法人石川県理学療法士会 / 公益社団法人石川県作業療法士会 / 公益社団法人言語聴覚士会 / 石川県ホームヘルパー協議会 / いしかわ921在宅ネットワーク / 日本地域薬局薬学会 / 日本服薬支援研究会 / 一般社団法人全国薬剤師・在宅療養支援連絡会 / 日本ファーマシューティカルコミュニケーション学会 / 日本アプライド・セラピューティクス（実践薬物治療）学会（順不同）

9. 事務局：

大会事務局：一般社団法人日本在宅薬学会

運営事務局：株式会社メディセオ

10. 協力企業：

共催セミナー 8社

広告 22社

寄付 4社

11. 参加者数：937名

12. 参加費：

|     |                                   | 事前参加登録  | 当日参加登録  |
|-----|-----------------------------------|---------|---------|
| 会員  | 医師・歯科医師・薬剤師                       | 10,000円 | 12,000円 |
|     | その他                               | 3,000円  | 5,000円  |
| 非会員 | 医師・歯科医師・薬剤師                       | 15,000円 | 17,000円 |
|     | 薬剤師（九州・沖縄・山口地域の<br>薬剤師会・病院薬剤師会所属） | 11,000円 | 13,000円 |
|     | その他                               | 4,000円  | 6,000円  |
|     | 学生                                | 1,000円  | 1,000円  |

13. 感想；

今大会は、新型コロナウイルス感染症拡大状況を鑑み、集合形式で現地にて2日間とWEBでのライブならびにオンデマンド配信を行うハイブリッド形式にて8日間にて開催致しました。

前回の第13回大会ではWEB配信のみの学術大会となりましたが、約2年間「Withコロナ」の時代の中、テーマにもなりました「デジタル時代だからこそ」できることを模索し、徹底した感染症対策を講じながら、また新たな可能性の試みとして新しい学術大会に挑戦することが出来ました。現地には、200名強の来場者となりましたが、当日のライブ講演を含め、会期中であれば、何度でも視聴できるオンデマンド配信のコンテンツも昨年より多く準備することができました。述ベログイン総数としては**9,133**アクセスとなりました。学術大会のセッション内容としましては、今大会のテーマで「患者に寄り添う『在宅薬学』～デジタル時代だからこそ生きる薬剤師の力～」といたしました通り、在宅現場にて求められる薬剤師に重要な知識・技能・態度が幅広く学べ

るコンテンツが充実しておりました。薬をお渡しするまでではなく服用後までフォローするという事は、まさに「患者に寄り添う」という事であり、患者と薬剤師の距離が離れる在宅の現場では、時間と空間のギャップを乗り越えさせてくれるデジタルの活用はかせません。地域包括ケアの完成を4年後に控え、充実のためには、薬剤師の対人業務が不可欠であります。患者に寄り添うことはもちろん、薬を飲んだ後の患者のフォローを含め、薬物治療の結果に責任を持つことが求められています。

今回の学術大会を通して、新しい時代で活躍する薬剤師として、自身の未来像を描いた時に『在宅薬学』が必要不可欠であることの気付きの機会を提供し、明日からまず一步、現場で行動に移せるような背中を押すようなきっかけになれたのではないかと感じております。超高齢社会を迎え、加速度的に起こる在宅・介護医療の現場での問題に対応すべく、薬局は「価値ある場所」となり、また薬剤師は「最も信頼できる職業」として評価と価値を得られるよう、当会では在宅をフィールドとし、今後も日本の医療に必要とされる薬剤師の育成に関わり、社会貢献を果たして参ります。

#### 14. プログラム：

大会会長講演 現地+Web配信：7月17日（土）9：40～10：10

「患者に寄り添う『在宅薬学』～デジタル時代だからこそ生きる薬剤師の力～」

座長：中森慶滋（公益社団法人 石川県薬剤師会 会長）

演者：崔吉道（金沢大学附属病院 教授・薬剤部長・病院長補佐）

理事長講演 現地+Web配信：7月17日（土）10：20～10：50

「在宅療養支援から始める薬剤師の業務変革」

座長：崔吉道（金沢大学附属病院 教授・薬剤部長・病院長補佐）

演者：狭間研至（一般社団法人日本在宅薬学会 理事長）

基調講演 現地+Web配信：7月17日（土）11：00～12：00

「マイナンバーカードの健康保険証利用から見える新しい患者と治療者の関係」

座長：狭間研至（一般社団法人日本在宅薬学会 理事長）

演者：山下護（厚生労働省 保険局 医療介護連携政策課 課長）

特別講演1 現地+Web配信：7月18日（日）10：20～11：20

「私が社長です。」

座長：狭間研至（一般社団法人日本在宅薬学会 理事長）

演者：元谷芙美子（アパホテル株式会社 代表取締役社長）

特別講演2 オンデマンド配信：7月17日（土）～ 7月31日（土）

「高齢化に伴う医療ニーズの変化と薬物療法の位置づけ」

演者：佐々木淳（医療法人社団悠翔会 理事長・診療部長）

教育講演1 現地+Web配信：7月17日（土）18：00～18：40

「魂の医療」

座長：門間康成（有限会社クリニカル調剤薬局 代表取締役）

演者：元谷芙美子（アパホテル株式会社 代表取締役社長）

教育講演2 オンデマンド配信：7月17日（土）～ 7月31日（土）

「薬剤師のためのモダリティ（心電図、エコー、X線、CT）の活かし方、考え方  
～在宅医療における活用の可能性について考える～」

座長：菅幸生（金沢大学 医薬保健研究域薬学系 臨床薬学研究室）

演者：梶原洋文（社会医療法人三愛会大分三愛メディカルセンター薬剤部課長）

教育講演3 オンデマンド配信：7月17日（土）～ 7月31日（土）

「COVID-19下での薬局薬剤師の果たす役割」

演者：岡田浩（京都大学大学院 医学研究科社会健康医学系専攻

健康情報学分野 特定講師）

教育講演4 オンデマンド配信：7月17日（土）～ 7月31日（土）

「在宅療養支援で知っておきたい感染制御・感染症治療の基本」

オーガナイザー：手嶋無限（株式会社ONEDERS アイビー薬局 取締役・副社長）

演者：松元一明（慶應義塾大学 薬学部 薬効解析学講座 教授）

教育講演5 オンデマンド配信：7月17日（土）～ 7月31日（土）

「在宅医療現場において保険薬局薬剤師が成すべきことを考える」

オーガナイザー：安田圭子（株式会社スパーテル 薬局部）

演者：佐々木剛（ナカジマ薬局 薬局事業部・福住在宅調剤センター課長代理）

教育講演6 オンデマンド配信：7月17日（土）～ 7月31日（土）

「在宅褥瘡治療における薬局薬剤師の役割～褥瘡を通じて在宅医療のエキスパートを目指す～」

演者：小黒佳代子（株式会社ファーマ・プラス 専務取締役）

教育講演7 オンデマンド配信：7月17日（土）～ 7月31日（土）

「誤嚥性肺炎治療におけるAMR対策」

演者：野原幹司（大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔機能治療学教室 准教授）

教育講演8 オンデマンド配信：7月17日（土）～ 7月31日（土）

「在宅療養支援で知っておきたいリハビリテーション栄養の基礎」

オーガナイザー：手嶋無限（株式会社ONEDERS アイビー薬局 取締役・副社長）

演者：西岡心大（一般社団法人是真会 長崎リハビリテーション病院 法人本部  
人材開発部・栄養管理室）

教育講演9 オンデマンド配信：7月17日（土）～ 7月31日（土）

「在宅療養支援で知っておきたい医療材料～創傷被覆材を中心に～」

オーガナイザー：手嶋無限（株式会社ONEDERS アイビー薬局 取締役・副社長）

演者：関根祐介（東京医科大学病院 薬剤部）

教育企画セミナー Web配信：7月24日（土）14:50～16:10

「連携の実践に向けて備えよう！

～Information Technologyを業務に活かすためのHint & Method～

オーガナイザー：岡橋孝侍（京都第二赤十字病院 薬剤部・医療情報室副部長）

岸雄一（医療法人嘉健会 思温病院 薬剤部 部長）

演者：岡橋孝侍（京都第二赤十字病院 薬剤部・医療情報室 副部長）

山中理（市立大津市民病院 薬剤部・医療情報システム室・治験管理センター）

園浦将矢（有限会社フラワー薬局 取締役）

鈴木高弘（日本調剤株式会社 医療連携推進部）

大槻俊知（最中屋 代表）

シンポジウム1 現地+Web配信：7月17日（土）13:40～15:40

「在宅におけるがん性創傷への薬剤師の役割を考える」

オーガナイザー：重山昌人（岐阜医療科学大学大学院 保健医療学研究科

薬学部薬学科 病態・薬物治療学分野 教授）

座長：渡部一宏（昭和薬科大学 臨床薬学教育研究センター実践薬学部門教授）

演者：菊池絵里（国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院 看護部）  
渡部一宏（昭和薬科大学 臨床薬学教育研究センター 実践薬学部門 教授）  
田口真穂（横浜薬科大学 レギュラトリーサイエンス研究室 准教授）  
橋口宏司（国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院 薬剤科 主任）  
大野朋子（株式会社akホールディングス 上永谷薬局）

シンポジウム2 現地+Web配信：7月17日（土）16：00～17：40

「患者に寄り添うためにできること」

オーガナイザー：安澤泰永（株式会社シナノメディカルプランニング  
しなの薬局上条店 管理薬剤師）

安田圭子（株式会社スパークル 薬局部）

演者：中村悦子（社会福祉法人弘和会 訪問看護ステーションみなぎ 管理者）

秋田利恵（株式会社スパークル小規模多機能ホーム

「ひなの家 押野」施設長）

ノンシャン（谷口紀子）（オトコト LLC 代表社員）

シンポジウム3 現地+Web配信：7月18日（日）13：00～15：00

「精神科領域と在宅薬学のコラボ ～患者の心に寄り添うために～」

オーガナイザー：柏原宏暢（公益社団法人 石川県薬剤師会 副会長）

森京子（石川県立高松病院 薬剤科）

演者：桑原秀徳（医療法人せのがわ 瀬野川病院 薬剤課 課長）

林恵子（石川県立高松病院 地域生活支援部 地域医療連携科）

笹山亨（箔山堂薬局 高松店）

中川明子（中川薬局）

中田裕介（合資会社中田薬店 ゆう薬局）

シンポジウム4 現地+Web配信：7月18日（日）15：20～17：00

「新しい『高齢者の医薬品適正使用の指針』、

及び近年のポリファーマシー対策に関する知識」

オーガナイザー：内手昇（北陸大学 薬学部 薬学教育研究センター 教授）

座長：四反田耕司（株式会社スパークル 薬局部 副部長）

演者：道家由行（厚生労働省 医薬・生活衛生局 医薬安全対策課）

小島太郎（東京大学大学院医学系研究科 加齢医学講座 講師）

溝神文博（国立長寿医療センター 薬剤師）

シンポジウム5 Web配信：7月22日（木・祝）16：50～18：20

「薬局の食支援活動と制度への提言 ー薬局も薬剤師も地域のハブになれー」

オーガナイザー：荒金英樹（愛生会山科病院 消化器外科 部長）

栗原智広（有限会社メディカ ほし薬局 戸沢店）

オープニングリマーク：荒金英樹（愛生会山科病院 消化器外科 部長）

演者：星利佳（有限会社メディカ ほし薬局 代表取締役社長）

宮本恵子（株式会社三弘 博芳堂薬局）

花本美奈子（認定栄養ケア・ステーションLINK 代表）

松味利晃（株式会社北川本家 製品部 製品部長）

鎌田剛（東北公益文科大学 准教授）

シンポジウム6 Web配信：7月23日（金・祝）16：50～18：20

「ドローンが切り拓く在宅療養支援薬局の未来 オンライン診療・服薬指導に伴う処方薬のデリバリーの最適解とは ー法整備の現状と技術観点でのアップデートー」

オーガナイザー：狭間研至（一般社団法人日本在宅薬学会 理事長）

湯浅浩一郎（VFR株式会社 執行役員 COO）

演者：狭間研至（一般社団法人日本在宅薬学会 理事長）

鷺谷聡之（株式会社自律制御システム研究所（ACSL）

信田光寿（ANAホールディングス株式会社 デジタルデザインラボ  
ドローンプロジェクト ディレクター）

シンポジウム7 Web配信：7月24日（土）12：50～14：30

「地域の在宅医療の現状と展望」

オーガナイザー：綿谷敏彦（綿谷小作薬局 管理薬剤師）

北川梨乃（とくひさ泉本町薬局 薬局長）

兼司会：坂野由宇希（ひなどり薬局 管理薬剤師）

座長：内田陽一（チューリップ調剤株式会社 薬局統括部 エリア担当課長）

演者：岩腰務（チューリップ山室薬局）

木村嘉明（木村薬局 地域包括ケア担当）

金谷祐希（とくひさ中央薬局 在宅医療部）

笠原秀行（笠原健招堂薬局）

笠原友子（笠原健招堂薬局）

シンポジウム8 オンデマンド配信：7月17日（土）～ 7月31日（土）

「安心安全な薬物療法を継続的に提供するための地域連携」

オーガナイザー：藤永智也（医療法人嘉健会 思温病院 薬剤部）



尾山治（医療法人嘉健会 思温病院 総合診療科・内科）  
演者：尾山治（医療法人嘉健会 思温病院 総合診療科・内科）  
大倉清美（株式会社デー・アイ 居宅介護支援 そよ風）  
池上暁（合同会社プラスぼぼぼ 訪問看護ステーションややのいえ）  
橋谷美智子（株式会社スパーテル小規模多機能ホーム  
「ひなの家押野」管理者）  
橋本倫季（ファルメディコ株式会社 ハザマ薬局 森ノ宮店）  
藤永智也（医療法人嘉健会 思温病院 薬剤部）

シンポジウム9 オンデマンド配信：7月17日（土）～ 7月31日（土）  
「『薬局3.0』を実現する新しい医療人～薬局パートナーの現状と未来～」  
オーガナイザー：狭間研至（ファルメディコ株式会社 代表取締役社長）  
大橋淑起（ハザマ薬局伊丹店 薬剤師・薬局事業部課長）  
演者：大橋淑起（ハザマ薬局伊丹店 薬剤師・薬局事業部課長）  
神宮伸司（ハザマ薬局平野センター 薬剤師）  
米原梓（ハザマ薬局伊丹店 薬局パートナー）  
吉田晋也（ハザマ薬局新千里西町店 薬局パートナー）

シンポジウム10 オンデマンド配信：7月17日（土）～ 7月31日（土）  
「新しい公衆衛生：コロナ禍で浮上した薬剤師の重要性」  
オーガナイザー：平井みどり（日本赤十字社兵庫県赤十字血液センター 所長）  
井手口直子（帝京平成大学 薬学部 教授）  
演者：阪井丘芳（大阪大学大学院歯学研究科 教授）  
安達宏昭（大阪大学大学院薬学研究科 特任教授）  
渡部一宏（昭和薬科大学 実践薬学部門 教授）

ランチョンセミナー1 現地+Web配信：7月17日（土）12：20～13：20  
「地域で求められる薬剤師介入とその効果～アポテカプロジェクトを踏まえて～」  
座長：崔吉道（金沢大学附属病院 教授・薬剤部長・病院長補佐）  
演者：中尾豊（株式会社カケハシ 代表取締役社長）  
崔吉道（金沢大学附属病院 教授・薬剤部長・病院長補佐）  
共催：株式会社カケハシ

ランチョンセミナー2 現地+Web配信：7月18日（日）11：40～12：40  
「漢方薬の処方意図を理解するために」

座長：崔吉道（金沢大学附属病院 教授・薬剤部長・病院長補佐）

演者：貝沼茂三郎（富山大学附属病院 和漢診療科 特命教授）

共催：株式会社ツムラ

セミナー1            オンデマンド配信：7月17日（土）～ 7月31日（土）

「ICTを利用した情報連携システムについて～フェニックスネットの活用について～」

座長：三浦雅彦（株式会社スギモトコーポレーション 相談役）

演者：草間昭夫（一般社団法人 長岡市医師会 会長／草間医院 院長）

セミナー2            オンデマンド配信：7月17日（土）～ 7月31日（土）

「ウェアラブルデバイスを利用した医療分野におけるIOTの活用

～多様な機器と繋がるPHRの薬局における活用～」

座長：澤野和彦（株式会社 薬師堂 代表取締役）

演者：吉田誠（青い森薬局 山代店 取締役専務）

寺嶋秀市（株式会社Welby マーケティング統括部 シニアマネージャー）

ワークショップ Web配信：7月22日（木・祝）14:00～16:30

「排便障害・排尿障害の漢方方剤」

オーガナイザー：金田孝子（石川県女性薬剤師会 会長）

オーガナイザー兼座長：桂正俊（株式会社MKファーマシー 代表取締役）

門間康成（有限会社クリニカル調剤薬局 代表取締役）

演者：狭間紀代（ファルメディコ株式会社 代表取締役会長）

ファシリテータ：矢野知子（うさぎファーマシー）

鈴木勝宏（日本薬科大学 薬学科 実践薬学分野）

小黒佳代子（株式会社ファーマ・プラス）

長井彰子（田辺薬局）

中西美那子（リョウセイ堂薬局）

能丸浩子（フラワー薬局）

高崎潔子（株式会社タカサ）

石田雅子（薬局タカサ）

小林志保（株式会社エスシーグループ ふれあい薬局）

スポンサードセミナー1 Web配信：7月19日（月）18:30～19:30

「高齢者トータルケアにおける認知症・フレイル対策」

座長：高山和郎（東京大学医学部附属病院 薬剤部

／日本病院薬剤師会災害対策委員会 委員長）

演者：小川純人（東京大学大学院医学系研究科 老年病学 准教授）

共催：第一三共エスファ株式会社

スポンサードセミナー2 Web配信：7月19日（月）19:40～20:40

「高齢者の带状疱疹治療薬の安全性に対して薬剤師のできること」

座長：水口雅之（水口内科クリニック 院長）

演者：平田純生（I & H株式会社 学術研修部／熊本大学 薬学部）

共催：マルホ株式会社

スポンサードセミナー3 Web配信：7月20日（火）19:40～20:40

「ICTを用いた検査値の自動記録及び情報共有がもたらすメリット

～薬剤師・介護施設スタッフの視点から～」

座長：小林星太（とくひさ中央薬局 在宅医療部 責任者）

演者：赤坂聡之（てまり西泉薬局 薬局長）

北井智康（有料老人ホーム「ひなの家」 施設長）

共催：ニプロ株式会社

スポンサードセミナー4 Web配信：7月21日（水）18:30～19:30

「在宅診療から「食べる力」を読み解く！

～医療と生活のはざままで考える口腔の役割とは～」

座長：原祐輔（金沢大学附属病院 薬剤部 副薬剤部長）

演者：長谷剛志（公立能登総合病院 歯科口腔外科 部長）

共催：株式会社大塚製薬工場

スポンサードセミナー5 Web配信：7月22日（木・祝）18:30～19:30

「CKDと在宅診療 ～腎性貧血に介入する～」

座長：古市賢吾（金沢医科大学 医学部 腎臓内科学 教授）

演者：土谷健（東京女子医科大学 血液浄化療法科 教授）

共催：バイエル薬品株式会社

スポンサードセミナー6 Web配信：7月22日（木・祝）19:40～20:40

「街医者から薬剤師へ ～在宅でクスリが飲みたくなる内服支援をめざして～」

座長：森和明（株式会社ユヤマ 学術部 部長）

演者：桜井隆（さくらいクリニック 院長）

大野真理子（ウォルグリーンズ・スペシャルティ薬局（テキサス州））

共催：株式会社ユヤマ

## 一般演題

優秀演題賞候補発表 Web配信：7月23日（木・祝）18:30～21:00

座長：菅幸生（金沢大学 医薬保健研究域薬学系 臨床薬学研究室 准教授）

手嶋無限（株式会社ONEDERS アイビー薬局 取締役・副社長）

演題：P-01 質問紙形式の神経心理検査（NPI-Q）による認知症周辺症状の  
重症度評価における職種間の相違

演者：山中夕奈（北陸大学薬学部）

演題：P-03 脳卒中急性期患者が排尿自立困難に至る要因の  
病期縦断的な処方動向分析

演者：隅屋暦（金沢大学大学院医薬保健学総合研究科）

演題：P-04 中規模医療圏の在宅医療に携わる薬剤師の現状に関する質的研究

演者：横幕香織（摂南大学薬学部／彦根市立病院薬剤部）

演題：P-05 全国の在宅医療提供体制と普及要因に関する調査研究

演者：阿部竜大（横浜薬科大学 レギュラトリーサイエンス研究室）

演題：P-06 鍵付きBOXを活用し家族を含めた多職種連携で服薬支援した症例

演者：大岸直也（てまり西泉薬局）

演題：P-07 医療機関との連携により服薬支援・減薬ができた症例

演者：折戸真澄（若葉らいふ薬局）

演題：P-11 「薬局提案型」で居宅療養管理指導となり服薬コンプライアンスが  
改善された1例

演者：赤坂聡之（てまり西泉薬局）

演題：P-17 腎障害かつ低カリウム血症患者の服用薬剤について薬剤師の介入により  
適正化が図れた一例

演者：宮本昂紘（てまり西泉薬局）

演題：P-18 服薬情報提供をした事で、検査結果が他院へ報告され、  
体調異常・副作用の原因が把握出来た事例

演者：西山留美（アソシエ薬局）

演題：P-19 処方日数が短い在宅患者だからこそコミュニケーションを取ることで  
処方の適正化が行うことができた症例

演者：鈴木康友（シーエスグループ 株式会社横須賀薬局 森のシティ薬局）

e-poster発表 オンデマンド配信：7月17日（土）～ 7月31日（土）

演題：P-02 デノタスチュアブル錠®服用困難患者への処方変更の提案により  
服薬アドヒアランスが向上した症例

演者：藤丸知佳（若葉らいふ薬局）

演題：P-08 在宅訪問薬剤師に対する医療・介護従事者への満足度アンケートを  
実施して～2016年度と2019年度を比較して～

演者：宇都宮励子（一般社団法人大阪ファルマプラン あおば薬局）

演題：P-09 「在宅業務における薬剤師とケアマネジャー連携」  
～実際に連携した症例を踏まえて～

演者：上野将明（株式会社メディカルグリーン）

演題：P-10 在宅療養での服薬支援に 簡易懸濁法を導入し多職種連携へ貢献した  
一症例

演者：武山和也（サクラメディカル株式会社 北町薬局）

演題：P-12 必要なタイミングで訪問薬剤管理指導を導入できた抗がん剤施行患者の  
一例

演者：山本圭祐（聖隷浜松病院 薬剤部）

演題：P-13 写真による爪白癬の経過観察から足背の浮腫を早期発見できた症例

演者：大江佑加子（大賀薬局／福岡大学大学院薬学研究科）

演題：P-14 薬剤師訪問活動と多職種連携により行動の変容に繋がった症例のまとめ  
演者：吉岡優子（たまち薬局）

演題：P-15 施設へ在宅療養支援を開始、得られた評価と今後の目標  
演者：甲斐敬子（ふるさと薬局）

演題：P-16 訪問薬剤管理指導の必要なタイミングでの導入に向けた  
後ろ向き調査研究  
演者：速水瞳（聖隷浜松病院 薬剤部）

演題：P-20 在宅療養を契機にケミカルコーピングとなった前立腺がんの1例  
演者：中村俊貴（北里大学北里研究所病院）

演題：P-21 胃癌術後の病状変化に応じた薬剤管理を行えた1症例  
演者：手嶋無限（株式会社ONEDERS アイビー薬局）

演題：P-22 転倒を繰り返す患者に対して転倒リスクが高い薬剤の中止を  
提案した症例  
演者：橋本恵幸（荒屋らいふ薬局）